

高齢社会のケア

看護の日

〇下〇

専門看護師

徳島大学病院の外来化学療法室で勤務する三木幸代さん(50)は、病院内でただ一人の専門看護師だ。高水準の看護ケアを提供する専門看護師は県内に3人。認定分野は11あるが、3人はいずれも、がん看護分野で認定を取得している。

三木さんは2004年、資格を取得したのは、化学療法を受けていた白血病患者との出会いがきっかけだった。強い抗がん剤治療を受けながらも症状

用も強く出ていた。

「かなり苦しんでいた。がん患者のサポートは、身体的にも精神的にも非常に難しい。手術前の抗がん剤治療を受ける患者と、がんが進行・再発した患者とでは、がんの進行度によって看護の視点が変わってくるからだ。」

後、さらに専門看護師を目指し、徳島大学大学院保健科学教育部で単位を取得。働きながら夜間に講義を受け、3年で認定を受けた。実践、指導、相談の三つ

々、意識している」

がん化学療法看護分野で、看護知識や技術に優れた認定看護師になった。さらに12年、より高い水準のケア

チーム医療の調整役

の役割を担う認定看護師に
対し、専門看護師の役割は
実践、相談、調整、倫理調
整、教育、研究の六つに括
大する。「チーム医療」の
調整役を務め、看護師から
の相談を受けたり、医師と
話し合ったり。複雑で解決
困難な問題を抱えた人に対
する看護ケアを、効果よく
提供することを目指してい
る。

抗がん剤の点滴治療を補助する専門看護師の三木さん—徳島大学病院

「がんそのものや化学療法の副作用など、複雑な症状のマネジメントを行いながら、いかに患者を支えていくのか。」「研修で学んだことを生かせるように日々、意識している」

